


# 笹ヶ峠～平谷～下川上～大峯山～笹ヶ峠

**L** 別荘地の車道を上りつめた所に水道施設があり、施設の横から植林地の中の登山道を進みます。

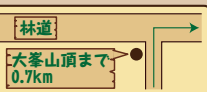


水道施設

**O** 休憩所から少し下ると、夏には枯れる「長命水」があります。頂上から左回りで下る道とここで合流します。この辺りは、岩場の中を通り抜けるコースで迷いやすいので、コースを外れないように赤テープや踏み跡を頼りに注意して進みましょう。

**M** 「2合目」からは、谷と離れて、右尾根の長い急な階段を登ります。ここから頂上までは、急ですが分かりやすい道をひたすら登っていきます。

**P** 林道と合流します。合流点には、「大峯山頂まで0.7km」の案内板があります。この合流点を右へ進みます。



林道  
大峯山頂まで0.7km

**N** 東西に長い大峯山山頂台地が上がると、右手の平凡な所(二等三角点)があります。左に10分余り下ると「峯太郎ブナ」があります。ここからさらに西大峯山に縦走するコースはヤブが多く経験者向きで、一般の人には勧められません。三角点から東へ進むと、「六畳岩」や「八畳岩」などの巨岩があります。この巨岩にハシゴで登ると、岩の上から360度の展望が開けます。この巨岩の下には、祠や休憩所がありますが、直接は降りれないので、巨岩の基部の左か右を回ります。岩場では、ゆっくり慎重に行動しましょう。休憩所から、北に下山路が伸びていますが、下山する前に、そのまま頂上台地の東端に行くと、「緑のタキ」とも「まわり縁」とも称される断崖絶壁の上に立つことができます。ここからの眺望も、素晴らしい一言です。

**A** 出発地の笹ヶ峠です。この後は、湯来温泉で汗を流して帰るのがおすすめです。

